

# 令和4年 豊後大野市教育委員会 9月定例会 議事録

## 1 開催日時

令和4年9月28日(水曜日) 午前9時05分開会 午前11時25分閉会(2時間20分)

## 2 開催場所

豊後大野市役所 2階 教育委員会室

## 3 出席者

委員 4名中4名出席

(出席委員等)

教育長 下田 博

1番委員 三浦 絵里奈

2番委員 羽田野 光江(教育長職務代理者)

3番委員 江嶋 真朋子

4番委員 渡部 稔

(欠席委員) なし

事務局 5名出席

(出席)

教育次長 後藤 樹代文

学校教育課長 中城 美加

社会教育課長兼図書館長 岡部 司

学校給食共同調理場長 赤嶺 真一(学校教育課参事 兼)

資料館長 高野 弘之(社会教育課参事 兼)

書記 1名出席

学校教育課課長補佐兼教育総務係長 衛藤 幸司

## 4 諸報告

教育長報告

各課報告

## 5 付議事項等

### 報告事項

報告第7号 令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

報告第8号 大分都市広域圏における図書館の相互連携参加表明について

### 議事案件

議案第27号 令和4年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

## 6 会議の概要

出席者報告

後藤教育次長	それでは、委員の皆さんお揃いですので、出席者の報告をさせていただきます。出席委員4名、欠席委員無し、教育長、教育委員会事務局5名の出席です。尚、報告第7号の説明を渡辺指導主事が行いますので、入室の許可をよろしく願います。
全委員	… 委員一同異議なし …
後藤教育次長	本日は、報告事項2件、議事案件1件をご提案させていただきます。尚、議案第27号の就学援助認定につきましては、次第8の連絡調整の後にご提案させていただきますので、ご了承願います。それでは、教育長、よろしく願います。

## 1 開会

下田教育長	おはようございます。先々週の台風では、学校を含めいろんなところに被害がありました。お見舞いを申し上げます。それでは、ただいまより令和4年9月定例会を開会いたします。 (午前9時5分開会)
-------	--

## 2 前回議事録の承認

下田教育長	それでは、会議規則第六条第一項第2号の規定に基づき、8月16日開催の第4回臨時会及び29日開催の8月定例会の議事録の承認を求めます。議事録につきましては事前に送付いたしましたので、説明を省略し、承認手続きを行います。まず、ご質問を受けたいと思いますが、何かございますか。
全委員	… 委員一同質問なし …
下田教育長	よろしいですか。それでは第4回臨時会及び8月定例会の議事録を承認することに異議ありませんか。
全委員	… 委員一同異議なし …
下田教育長	異議なしと認め、承認します。

## 3 議事録署名委員の指名

下田教育長	続いて会議規則第十七条第二項の規定に基づき、本会議の議事録署名委員の指名を行います。4番渡部稔委員を指名します。
渡部稔委員	… 指名委員の了承 …

## 4 会期の決定

下田教育長	次に会期の決定であります。付議事項等勘案致しまして、本日1日限りとしたいと思いますが、異議ありませんか。
全委員	… 委員一同異議なし …

下田教育長	異議なしと認め、本日 1 日限りいたします。
-------	------------------------

## 5 諸報告

### (1) 教育長報告

下田教育長	それでは、諸報告に入ります。私の方から報告をさせていただきます(教育長から令和4年9月豊後大野市教育委員会定例会資料から[中学校部活動改革]について報告)
-------	---

### (2) 各課報告

下田教育長	それでは、各課の報告を致します。次長、お願いします。
後藤教育次長	(令和4年9月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告する) 続いて、学校教育課長が資料を基に報告。 続いて、学校給食共同調理場長が資料を基に報告。 続いて、社会教育課長が資料を基に報告。(含:図書館) 続いて、資料館長が資料を基に報告。 (公民館については、資料書面での報告。)
下田教育長	それでは、各課の報告が終わりました。ご質問を受けたいと思います。ありませんか。
全委員	… 委員一同質問なし …
下田教育長	諸報告について、終了致します。

## 6 付議事項等

### ○報告事項

報告第7号 令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

報告第8号 大分都市広域圏における図書館の相互連携参加表明について

下田教育長	それでは、報告第7号全国学力・学習状況調査結果についてお願いします。
渡辺指導主事	(令和4年9月豊後大野市教育委員会定例会別冊資料「報告第7号」で説明)
下田教育長	説明がありました。ご質問ございますか。 渡辺指導主事は、この点数について、どう認識していますか。
渡辺指導主事	中学は高校入試等がありますので、非常に重要なものであると考えています。しかし、点数だけでは計りきれないものもありますので、その部分についても大切にしていかなければならないと考えています。
下田教育長	私から、一つ質問です。先ほどの説明で、小学校と中学校の点数を比べた時に、「伸び悩んでいる」という表現を使っていました。何を根拠に説明したのですか。

渡辺指導主事	<p>県の学力定着状況調査も、全国の学力学習状況調査も、以前は、問題をそのまま読んで解くというのが手段であったものが、今は、批判的に捉えたり考察をしたりする部分が非常に多くなってきました。ですから、学校によって結果に違いがあるんですが、学力が低下しているのではなくて、伸び悩んでいるのではないかと分析しました。</p>
下田教育長	<p>ということは、そういった問題の傾向に対する学習経験が少ないということですね。そこをクリアすれば、伸び悩みは解消できるということですね。ひいては、そのための施策を打ち出すということですね。</p>
渡辺指導主事	はい。
下田教育長	そこについて、課長どうですか。
中城学校教育課長	<p>県と全国では、県の方が基礎基本の部分が多いです。全国の方は、知っていれば答えられるという基礎基本の問題が極端に少ないです。問題の傾向として、総合的に思考力・判断力・表現力を働かせるものといわれています。とくに、思考をフル回転させて、今まで習ったことを総合的に組み合わせながら答えを導き出さないと解けない問題が多く出されています。今、渡辺指導主事が申しました通り、日常の学習や定期テストに於いて思考力・判断力・表現力が問われる問題を経験しているかどうかで、結果的に数字に差が出てくると思います。今、求められている力は、「こうなればこれ」ではなく、この課題に対してどんなアプローチをかけていけば課題が解決するのか、他者と協働しながらいろんな考え方を導き出していく力です。そういう方向性を意識しながら授業改善をさらに進めて行く必要があるかと思っています。</p>
渡部稔委員	<p>学校によって、10人位の学年もあれば、150人以上の学年もあります。1人が90点取っても、1人が10点取ったら、平均点がかなり変わります。保護者の方が、対策として利用しているのは、塾です。塾に行っている子は、点数もよく取ります。どうして塾に行かせているのかと聞くと、学校の授業だけでは、あまり理解していないし、本人も伸び悩んでいるからということみたいです。緒方町も、平日でも三重町まで塾に行っている子が多いです。平均正答率を見た時に、塾に行っている子たちが点数を引き上げてくれているのかなと私は思っています。もっと、平均的にみんなの点数が上がると良いなと思います。</p>
下田教育長	塾の利用状況についての調査はしていますか。
渡辺指導主事	していません。
下田教育長	<p>今のご指摘にあったように、学校教育の中で課題解決をしていかなければならないことを塾が担っているとしたら、住んでいる地域で違いが出るということにもなりかねませんので、塾の利用調査の必要があるのではないのでしょうか。</p>

中城学校教育課長	塾は、本当に点数対策に重きを置いています。それが良いとか悪いとかではなく、渡部委員さんがおっしゃったように、塾に通う通わない等で差を生まないようにするのが、公教育の姿だと思います。先ほど申し上げたように、私たちが、今、問われている力は何なのかを認識して、その力をどの子にもつけていくためにどんな取り組みをしていったら良いのか検討していくということが大切になってくると思います。とても大切なお指摘だと思います。学校の方を指導しながら取り組んでいきたいと思っています。
下田教育長	塾の情報もとおいた方がいいと思います。よろしくお願いいたします。
渡辺指導主事	わかりました。
江嶋真朋子委員	結果が良かった学校の取り組みについて、教えてください。
渡辺指導主事	各学校から取り組みの分析を提出してもらっています。それを見ると、どの学校も取り立てて違った取り組みをしているわけではありません。しかし、担当によって、教え方や指導のしかた等が違います。また、個や集団によっても違いは出てくると思います。そこは、学校の指導力で向上させていきたいと思っています。
江嶋真朋子委員	例えば、先生方で授業のやり方を共有し合うというようなことはありますか。
渡辺指導主事	あります。豊後大野市学校教育振興協議会という組織がありまして、同じ教科の先生同士で授業を見合って討論する場を設けています。授業の情報や教材については、タブレットを活用して共有できるようにもしています。
下田教育長	指導力を高める研修も必要ということですね。
中城学校教育課長	学習指導も生徒指導もそうなのですが、小学校1年生と6年生とでは、内容は違いますが、大事にしなければならないところは共通化しなければならないと思います。例えば、授業の最初には、めあてを明確にし、学習内容の見通しを持たせてから授業を始める等です。清川小は、以前からユニバーサルデザインの視点を取り入れて、「めあて」と「まとめ」など、見通しのある指導の手順を共通化する等、丁寧でわかりやすい学習や学校のルールにしようとする取り組み、その環境で育った子どもたちが、今中学生になっています。9年間を通じて大切にされているものが小・中学校で引き継がれ、一貫していくことが大切なのではないかと思います。そこが教師に共有されることで、指導者が変わっても、子どもたちは違和感なく学習に向かっていけるとと思います。
下田教育長	連続性を大事にして、スムーズに授業に入っていけるよう、小学校1年生から中学校3年生まで同じスタートにすることで、習慣化してきたということですね。
羽田野光江委員	算数・数学や理科など、小学校に比べて中学校の方が全国平均より下がっているのが

渡辺指導主事	<p>心配です。何か理由があるのでしょうか。</p> <p>中学校理科については、出題した国立教育政策研究所が言うには、教科書に載っていないことを多く出題したということです。教科書に載っていることであれば、子どもたちの正答率も上がったのかもしれないのですが、初めて見るような問題でしたので、子どもたちが戸惑っていたと中学校の先生が言っていました。これからは、問題を読んでそのまま答えるだけではなく、批判的に捉えたり、違う側面の見方をしてみたりする視点が必要になってくるのであろうと思います。1+1=2ではなく、なぜ2になるのだろうか、3にはならないのだろうか、というような見方がこれからの学力には必要であるということです。</p>
羽田野光江委員	<p>学校の先生も大変になっていますね。学校毎ではなく、教科毎に先生方が練り合っていないと向上していかないということですね。数学もそういうことが言えるのですか。また、A問題とB問題というのは、どういうことですか。</p>
渡辺指導主事	<p>同じことが言えると思います。一つだけのことでなく、いろんなところから情報をもってきて一つの答えを導き出さないといけなくなってきています。平成30年度までは、A問題は基礎的な問題、B問題は活用問題と言って、複数の資料から思考判断表現力を問うような問題でした。しかし、令和元年度より統合されて1つの問題になり、ABの区別はなくなりました。</p>
羽田野光江委員	<p>しかし、中学校になって、基礎的な問題が分かっていないとこのような問題は解けないということですね。私は、塾については、通える子と通えない子があるので、どうかという思いがあります。是非、学校でそこもがんばって指導して欲しいと思います。</p>
下田教育長	<p>国東市や豊後高田市は、公的な塾を開きました。市教委としては、学校で全ての子が等しく学びに向かうための学習機材などの学習環境に予算を割きたいのですが、全国的に、こういう流れが出てくると、考えた方が良いのかもしれませんが。</p>
三浦絵里奈委員	<p>学力学習状況調査の結果を受けての課題や取り組みの分析は、難しいと思うのですが、一つ気になったのは、中学校の方が全国平均より下がっていることです。これは、アプローチする力が弱いからなののでしょうか、小学校では基礎学力はできていたけど中学の方が、ワンステップ上がったからなののでしょうか。いろんな原因が出てくるのだらうと思います。大人の話になるのですが、大分県がデザイン経営というのを推進しています。デザイン経営というのは何かというと、課題に対してどうアプローチをしていくのか、デザイナーの思考の仕方を経営に落とし込んでみるといったものです。私は、これからの時代は、大人もデザイン経営とかデザイン力が必要です。経営者さんも気づいて、みんなが学びにかかっているという状況が、学校教育の方にも浸透してきているのかなと感じています。先生方は、基礎学力はつけなくてはいけない、デザイン力はつけなくてはいけないといったことが求められています。それだと、先生も生徒もパンパ</p>

	<p>ンになると思います。豊後大野市らしさとして、基礎学力は小学校のうちにつけ、ヘプタゴン教育として、デザイン経営的な思考を教育に取り込んでみるというのはどうでしょうか。郷土愛だけではなく、講師を呼ぶなどして、デザイン思考を教えられるセミナー的なものを年に数回でも生徒たちに触れる機会を作るというのはどうでしょうか。気づく子は気づくし、子どもたちの頭に何かしらインプットされると思います。現状を見た時に、今、先生たちにその部分まで1時間の授業の中に取り込んでやってもらうのは、いい判断ではないと思います。そんなやり方でシフトチェンジしていくのも有りなのかなと感じました。</p>
渡辺指導主事	<p>デザイン思考というのは、デザインをするデザインと捉えて良いでしょうか。</p>
三浦絵里奈委員	<p>デザインというと、みなさんデザイナーとかチラシとかイメージすると思いますが、全く違うものです。例えば、経営側のデザイン思考からすると、1+1という課題に対して、オファー側が2という当たり前の答えではなく、2なのけど2じゃないものを求めている場合、どういうふうに2と結びつけるかとか、2ではあるけど2ではないように見せるにはどうしたら良いかとか、いろんな視点から考えてみることなのです。これって、地域の課題解決にも落とし込むことができます。よく、人口が減っているとか、若い人がいないとかを課題として取り組まれるのですが、本当は、若い人が来にくい理由等、もっと根本的な視点に立って課題を設定し思考していくと、違う世界や答えが見えてくるという考え方です。大人の経営者的な考え方です。コロナ禍もあって、みんなと同じことをしていたのでは、利潤が上がっていかないから、みんなと違う答えを出さなければという思いもあると思います。また前向きな取り組みをしている地域の方は、そういうところにアンテナを張って、話を聞きに来たりしています。豊後大野市でもセミナーがあったのですが、デザイン経営という言葉になじみがなく、参加者は少なかったですが、協力隊の方々には、参加されていました。まずは、こういうセミナーの存在を現場が知って、子どもたちにも落とし込んでいく取り組みも合っているのではないかと思います。</p>
渡辺指導主事	<p>お話を聞いて、これからの時代、デザイン思考がしっくりくるし普通になってくると思います。今、ネットでバズるという言葉がありますが、あれは、新しい考えに対してネット上で爆発的に話題になることを表し、それが流行ってくるわけです。これからは、教育長がいつも言っている様に、思考を変えていかないといけない、当たり前が当たり前ではない、そういった視点を教育にも取り入れる必要があるかと思います。是非また、詳しくお聞かせください。ありがとうございます。</p>
下田教育長	<p>市ではプログラミング思考を大切にしています。プログラミング思考は、規則正しく、次の方向性を導き出していくという思考を求めているわけですね。それだけでなく、いろんな生き方を学んでいく機会を増やすことも大切です。先ほど話題になった学習経験を増やすために、デザイン思考的な回路が必要であることも、どこかで学んで提供していくことが大切だと思います。</p>

中城学校教育課長	<p>今、お話を聞きながら、今の学校教育の中でどういう時にデザイン思考の場面があるかなと考えていました。もちろん、教科の中でも取り入れて欲しいのですが、なかなか難しいところがあります。私は、総合的な学習の時間や特別活動の時間にその要素がたくさんあるなと思っています。いろんな考えを持っている人が、課題に向けて、いろんな知恵を出し合いながら模索や試行錯誤をしたり、他の方からいろんな話を聞き、ヒントをいただきながら自分たちの課題解決の道筋を自分たちで考えていったりすることが重要だと思います。自分の考えを持つ思考の働かせ方を学ぶ必要があると思います。新しい指導要領には、教科毎に考え方の働かせ方について提起しています。知っているだけではなくて、知っていることをどう働かせて、どんなふうに使っていったら良いのかということ意識的にしていくことも大切ということです。やはり、総合的な学習の時間や特別活動の時間が学びの基礎となる大事な力になると思います。</p>
三浦絵里奈委員	<p>各学校の運動会や体育大会が半日開催でした。運動会までの 2 週間にいろんなドラマがあります。応援団のリーダーになれば、みんなをどうまとめていこうか等、いろんな思考が必要になってきます。また、チームの中で、お互いのコミュニケーションが生まれます。もともと日本は、運動会などの活動を通してそういった場を持ってきたといえます。それがコロナ禍とはいえ、半日になったのが残念です。子どもたち一人一人が一律ではなく、個々に学びそれぞれに成長する貴重な場だと思います。先生方も子どもたち一人一人の学びや成長から一律ではない個々への係わり方を学ぶ貴重な場だったのではないかと思います。</p>
下田教育長	<p>いい、ご指摘をいただきました。今後、このテストについてどう具体的に取り組んでいくのか、指導主事から方向性を提案してください。</p>
渡辺指導主事	<p>分かりました。</p>
下田教育長	<p>他にご質問ございませんか。</p>
全委員	<p>… 委員一同質問なし …</p>
下田教育長	<p>それでは次に、報告第8号大分都市広域圏における図書館の相互連携参加表明についてお願いいたします。</p>
岡部社会教育課長	<p>(令和4年9月豊後大野市教育委員会定例会別冊資料「報告第8号」で説明)</p>
下田教育長	<p>ご質問ございますか。</p>
羽田野光江委員	<p>利用者のところで、豊後大野市の名前があるのは、臼杵市だけなのですが、これは、豊後大野市民は、臼杵市だけしか図書館の利用ができないということでしょうか。他の市の図書館には、入れないということですか。</p>



岡部社会教育課長	これは、現在の状況です。今後は、大分市・別府市・臼杵市・津久見市・竹田市・由布市・日出町の図書館を利用することができます。
羽田野光江委員	他の市や町の図書館には、直接行かないと利用できないということでしょうか。返す時にもその図書館に行かないといけないのでしょうか。
岡部社会教育課長	貸し出しを希望する市や町の図書館に行って利用者登録をして、利用者カードを作成しなくてはなりません。そして、借りる時も、返す時も、個人でその市や町の図書館に行かないと利用することはできません。
下田教育長	この連携のメリットは、他の市や町の図書館で目についた本が借りられるということです。ただ、デメリットは、返すのが大変ということです。この連携の大きな課題としては、本を返さなくなることです。豊後大野市は、10冊を2週間借ることができますから、貸出可能冊数の減も考えています。
岡部社会教育課長	市外の方への貸し出しについては、貸し出し可能冊数を減らすことや登録を1年ごとに更新するなどを検討しています。
下田教育長	デメリットの解消に向けて検討しているところです。
江嶋真朋子委員	豊後大野市の図書館利用者カードと他市のカードが1枚になつたりはしないのですか。
岡部社会教育課長	システムが違うので、1枚にはなりません。全部の市を利用しようと思えば、8枚のカードが必要になります。
下田教育長	他にご質問ございますか。
全委員	… 委員一同質問なし …
下田教育長	それでは、報告を終わります。

## 7 その他

- ①新型コロナウイルス対応について
- ②市議会関連について
- ③教育委員学校訪問について

下田教育長	それでは、その他、新型コロナウイルス対応について、お願いいたします。
中城学校教育課長	(令和4年9月豊後大野市教育委員会定例会「その他」別紙資料で説明)

下田教育長	ご質問ございますか。
全委員	… 委員一同質問なし …
下田教育長	これからは、保健所を通さなくなったので、陽性者数の発表も正確な数字とは言えないということです。豊後大野市も、発表の仕方を変えました。65 歳以上若しくは一定の条件に該当する方しか公表しません。それ以外の人は自分で登録しないと陽性の確認が取れないということです。
中城学校教育課長	学校は、連絡をしてもらうように、通知も出しています。
下田教育長	ご質問ございますか。
全委員	… 委員一同質問なし …
下田教育長	それでは、続きまして、市議会関連について、お願いいたします。
後藤教育次長	(令和4年9月豊後大野市教育委員会定例会「その他」別紙資料で説明)
下田教育長	ご質問ございますか。
全委員	… 委員一同質問なし …
下田教育長	続きまして、教育委員会学校訪問日程についてお願いいたします。
中城学校教育課長	(令和4年9月豊後大野市教育委員会定例会「その他」別紙資料で説明)
下田教育長	ご質問ございますか。
全委員	… 委員一同質問なし …
下田教育長	その他を終了します。

## 8 連絡調整

○今後の定例会の日程調整について

○その他

下田教育長	それでは、今後の定例会の日程調整についてお願いします。
後藤教育次長	10月定例会につきましては、10月27日木曜日の9時から開催したいと思います。また、11月の定例会につきましては、11月28日月曜日午前9時から開催したいと思います。

	<p>思います。その他の行事については、別紙のカレンダーにより確認をお願いします。以上、提案をしますので、委員皆さんで調整をお願いします。</p>
中城学校教育課長	<p>11月の定例会の日ですが、その日の午後に県の教育委員が豊後大野市に来て地域別意見交換会を設定しています。終日となりますが、よろしいでしょうか。</p>
衛藤学校教育課長補佐	<p>11月1日に「おおいた教育の日」推進大会がございます。朝9時に集合して市教育バスで現地に向かいます。また、11月5日には『豊後大野っ子』を育てる市民のつどいがございます。ご参加の方をよろしくお願いいたします。さらに、10月27日の定例会の後、午前中にかじかの訪問、学校訪問中の別日にジオパーク研修を計画しています。よろしくお願いいたします。</p>
下田教育長	<p>慌ただしい日程で申し訳ありませんが、お許してください。いかがでしょうか。</p>
全委員	<p>… 委員一同異議なし …</p>
下田教育長	<p>それでは、日程調整を終了します。</p>

## ○議事案件

議案第27号 令和4年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

下田教育長	<p>続きまして、最後の付議事項に入りますが、これについては非公開・秘密会としたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>(「異議なし」の声)</p>
下田教育長	<p>異議なしと認めます。 それでは、教育次長及び学校教育課長のみで審議しますので、他の課長は退席をお願いします。それでは、ここで一時休憩に入ります。</p> <p style="text-align: right;">(午前11時00分休憩)</p> <p style="text-align: center;">□□□ 一時休憩 □□□</p> <p>～ 社会教育課長・学校給食調理場長・資料館長・担当者退出 ～ ～ 学校教育課担当職員(旭副主任)入室 ～</p> <p style="text-align: right;">(午前11時16分開議)</p> <p style="text-align: center;">(非公開・秘密会)開始</p> <p>※審査時は、教育次長、学校教育課長、学校教育課担当職員のみ臨席した。 ※審議結果は、審査対象者審査1名のうち、認定1名、不認定0名・保留0名であった。</p>

	<p>(非公開・秘密会) 終了 (午前11時25分休憩)</p> <p>□□□ 一時休憩 □□□</p> <p>～ 学校教育課担当職員(旭副主任)退出 ～</p>
--	---

**9 閉会**

下田教育長	<p>ありがとうございました。それでは、本日の日程全て終了致しました。以上をもちまして、令和4年9月定例会を閉会いたします。おつかれ様でした。</p> <p>(午前11時25分閉会)</p>
-------	---